**科目名　日本語資格対策Ⅰ（上級）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 一般 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | 2単位 |
| **授業方法** | 講義 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 3年 |
| **学科・コース** | メディアコミュニケーション・スポーツテクノロジ学科 | | | | |

**授業概要**

日常生活場面で使われる日本語に加え、より幅広い場面で使われる日本語を身に着け、日本語能力試験N2に合格し、N1合格への足掛かりを作ることを目的としたもの

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

日本語学校で身に着けた初級日本語を基礎とし、さらにより幅広い場面で使われる日本語を身につけ、日本語による専門的な学習や業務に取り組むための基礎作りの最終段階に当たるものである。

**授業項目**

(1)　自動詞・他動詞

(2)　複合動詞

(3)　いろいろな意味のある動詞

(4)　い形容詞

(5)　な形容詞

(6)　副詞

(7)　対義語

(8)　接頭辞・接尾辞

( 9)　擬音語・擬態語

(10)　カタカナ語

(11)　慣用句

(12)　文法①時間・時期

(13)　文法②条件・基準

(14)　文法③立場・状況

(15)　模擬試験①

(16)　模擬試験②

**授業の進め方**

授業時間内には講義と演習を交互に行う．ほぼ毎回，授業終了時に小テストを課す。

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

上級レベルの日本語の言語知識に触れ始め、やや専門的な長い文章や会話もある程度理解できるようになる。

日本語能力試験N2からN1に合格し、専門的な内容に対しても抵抗なく取り組めるようになる。

**成績評価の基準および評価方法**

日本語能力試験受験結果（80%）、出席率および授業態度（20%）として評価

**教科書**

学生のレベルに応じて講義資料を配布し，その資料に沿って授業を進める。

**参考書**

日本語能力試験対策問題集など。

**実務経験**

**備考**